

1 はじめに

勤務している東温市立重信中学校は、昭和33年に旧重信町の3中学校が統合し誕生して以来、校訓「自立・互敬・協働」のもと、次代の担い手となる1万7千人近くの卒業生を輩出してきました。「主体的に考え、他者と協力し、たくましく行動する生徒の育成」を学校の教育目標に掲げ、今年度は、国立教育政策研究所の「魅力ある学校づくり調査研究事業」を通して、「集団づくり」と「授業づくり」に取り組んでいます。



私自身、本校での勤務は2回目となります。1回目は、平成9年度から平成21年度までの13年間で、この間に関わった管理職や先輩、同僚の先生方、そして生徒たちから、いろいろなことを学ばせていただきました。中でも、担当した生徒会活動と教科指導を通して学んだこと・身に付いたことは、今でも私の中核を成しています。

そして今年度から2回目の勤務となりました。これまで本校が築き上げてきた伝統を踏まえつつ、前述の調査研究事業に全校で取り組み、併せて私自身がこれまでの勤務で学んだことを先生方に伝えることで、本校が掲げる教育目標に少しでも近づけるよう、努めているところです。

今回、このような貴重な機会をいただきましたので、本校の集団づくりに関する取組の一例を紹介させていただきます。

2 生徒の自主・自立の力を育む集団づくり

本校には、生徒の自主・自立の力を育む主要な組織に生徒会とTーボランがあります。

(1) 生徒会

本校では生徒会を「銀嶺会」と呼んでいます。自治の精神のもと、学校側は生徒の自主性をできるだけ尊重するとともに、生徒は活発な議論をもとに活動を進めており、このことは、私が銀嶺会を担当していた20年以上も前から脈々と続いています。

ア 体育祭

生徒による自主的な活動によって進められる学校行事であり、最大の生徒会行事でもあります。夏休み前から、学級単位で縦割りにした3つのブロックを3年生幹部が中心となって運営するとともに、2学期からは、体育祭を迎えるまで毎日の放課後に、生徒会本部役員やブロック幹部、関係専門委員会で構成される実行委員会

を開いて、各ブロックの課題を報告し、問題点については翌日に向けて具体的な方策を考えるようにしています。実際に人を動かすことの難しさや予定どおりに進まない練習等で生じた課題を、生徒同士で知恵を出し合って乗り越えていきます。

イ ジェンダーレス標準服

令和2年度に3年生からの提案として生徒総会の議題に取り上げられ、全校生徒の話合いの結果、女子生徒標準服の選択肢にスラックスを導入することが決定しました。今年度はさらに、男女の枠を取り払ってはどうかという意見が出されましたが、形より、まずはジェンダーレスを日常のこととして受け入れる心情を自分たちがしっかり持つべきだという3年生の意見で保留となっています。

ウ The Brilliant Day

毎月、ある一日を“The Brilliant Day”とし、主に朝の会の時間に全校放送を通じて生徒会本部役員が人権や命についての啓発活動を行っています。コンセプトは、「全校生徒が自分や周りの人を大切にしながら、前向きに生活を送れること」であり、本校生徒のきらきらと光り輝く姿を想像しながら、日常生活を通して感動したことを伝えたり詩を紹介したりしています。

(2) Tーボラン

Tーボランは、「Team ボランティア」の略で、重信中生徒なら誰でもいつでも自由に参加できるボランティア活動を推進しています。各学年の有志によるTーボランリーダーが中心となって年間を通して活動しており、主な活動は、東温市や校内の花いっぱい運動、足立重信翁墓地清掃、各種募金活動、シトラスリボンプロジェクト等があります。

3 私自身は

先生方には、まずは生徒が関わるあらゆる集団で所属感・達成感が得られるよう、さらには活動の過程を重視し生徒の成長を支えるよう、配慮をお願いしています。

私自身は、この集団づくりに限らず、目的を明確に示して共通理解を図ることを心掛けています。本校に関係する教職員は60人余りと、大規模な組織であるが故に意思疎通は欠かせません。一日のうちに全員と話すことが難しい中で、ささやかながら実践しているのは、大事な内容は文書で示すこと、起案には必ずコメントを書き添えて返すこと、の2点です。このことは、これまでに指導していただいた先輩の先生方から学びました。

本校の取組が生徒の成長につながっていくこと、また、この先も、生徒や先生方がこれらのよき伝統を引き継いでいくことを願っています。